



平成 23 年 7 月 20 日

各 位

会 社 名 三菱製紙株式会社
代表者名 取締役社長 鈴木 邦夫
(コード番号 3864 東証・大証 第一部)
問合せ先
広報・IR室長 白川 文人 電話 03-3213-3763

八 戸 工 場 の 復 旧 状 況 に つ い て (7月19日より4台目の抄紙機、2台目の塗抹機が生産を再開)

東日本大震災により被災した八戸工場（青森県八戸市）は、5月24日より操業を再開し、5月に抄紙機2台（白板紙の生産設備1台、印刷・情報用紙の生産設備1台）、塗抹機（コーター）1台、6月に抄紙機1台（印刷・情報用紙の生産設備）が生産を再開、順調に生産を継続しております。

このたび、新たに抄紙機と塗抹機、各1台が7月19日より生産を再開しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

操業を再開したのは、同工場の大型抄紙機（塗工印刷用原紙の生産設備）1台と塗抹機（コーター）1台で、これにより生産量は震災前の約55%となります。

今後につきましては、本年度下期に再開予定の一部抄紙機について、当初計画より前倒しして8月下旬に生産を再開する見通しとなり、本年度上期中（平成23年9月末日迄）には、抄紙機6台、塗抹機3台の生産を再開し、八戸工場主力製品の生産体制が整います。

これにより、八戸工場の生産量は震災前の約90%、月産62,000トンまで回復する予定であり、復旧はほぼ完了いたします。

また、仕上設備（カッター、ワインダー等）の効率化投資等の検討を進めており、一段の合理化にも取り組んでまいります。

以 上